

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

江戸通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元大正通り）」、「目白通り」、「内堀通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」と歩きました。元号を付けた通りは歩きましたが、時代区分では明治時代の前は江戸時代です。

今回は江戸の名を付けた「江戸通り」を歩きます。江戸時代から残る道なので江戸の風情が残るスポットが多そうです。起点から終点に向かい江戸通りの左側を左右注意しながら歩きますが、見落としがあったら、ごめんなさい。写真上右は起点での江戸通りの道路名標識（都道 407 号線）です。途中から国道に変わります。江戸通りは千代田区大手町二丁目東京駅近くの J R 高架下交差点から台東区の隅田川の言問橋西交差点に至る延長約 5 k m の道です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[J R 線高架下交差点] 千代田区大手町二丁目

最寄駅 J R 東京駅

J R 東京駅八重洲北口を左に出て永代通り（国道 1 号線）を丸の内方面に行くところにある J R 線高架下（写真下左）が江戸通り（都道 407 号線）の起点です。J R 高架に沿って（写真下右）進みます。スタートは日曜日の早朝で、にぎやかな外堀通りや中央通りから一本入った道なので車も人通りもない静かな道です。



[新常盤橋交差点] 中央区日本橋本石町三丁目

最寄駅 東京メトロ銀座線 三越前駅

新常盤橋（写真下左）を渡ります。右側に見える白い橋は 2021 年（令和 3 年）5 月に修復工事が終了した常盤橋（写真下右）です。



高速道路をくぐると新常盤橋交差点（写真下右）で外堀通り（都道 405 号線）と交差します。左へ行くと神田橋方面、右へ行くと日本銀行、日本橋三越、鍛冶橋方面です。ここから中央区に入ります。





さっそく左側に歴史的な建造物が出てきました。近代産業遺産（平成 20 年度経済産業省）のプレートがある「区立常盤小学校」（写真上右）です。1873 年（明治 6 年）開校、現在使用されている建物は関東大震災を機に耐震、耐火に強い鉄筋コンクリート造りとして 1929 年（昭和 4 年）に建築されました。装飾性を加味したスタイルの代表作で建築様式として表現主義と呼ばれ、今でも往時の景観を残しています。

〔室町三丁目交差点〕 中央区日本橋室町三丁目

最寄駅 JR 総武線 新日本橋駅

室町三丁目交差点（写真下右）で中央通り（国道 17 号線）と交差します。



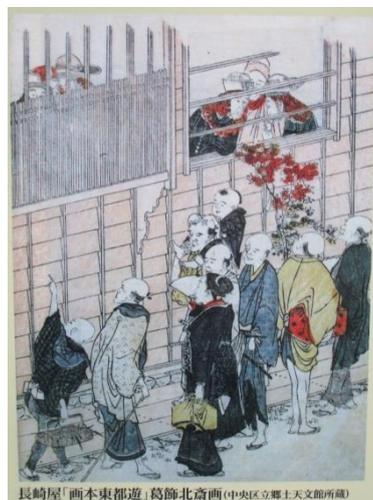
江戸通りはここから国道 4 号線に変わります。交差点を渡り、左角の JR 総武線新日本橋駅入口（写真下左）に「長崎屋跡」の説明板がありました。江戸時代ここには長崎屋という薬種屋があり、長崎に駐在したオランダ商館長の江戸参府時における



定宿でした。通訳や医師なども同行したので、滞在中に日本人蘭学者、医師が訪問しました。この地は鎖国下の日本における数少ない西洋文明との交流の場として貴重であり区民文化史跡に登録されています。



写真右は説明板に掲載の葛飾北斎画長崎屋「画本東都遊」です。



〔本町三丁目交差点〕 中央区日本橋本町三丁目

最寄駅 JR総武線 新日本橋駅

本町三丁目交差点（写真下右）で昭和通りと交差します。



江戸通りはここから国道4号線から国道6号線に変わります。
交差する昭和通りはここから都道316号線が国道4号線に変わります。
写真左はにぎやかな道路名標識です。

〔小伝馬町 十思公園一帯〕 中央区日本橋小伝馬町

最寄駅 東京メトロ日比谷線 小伝馬町駅

小伝馬町交差点の手前にある左の小道から奥にお寺が見えたので入りました。「身延山別院」（写真下左）で1883年（明治16年）の創建の際に、山梨県身延山久遠寺の宝蔵に安置されていた木造日蓮聖人坐像（室町時代のもの）を祖師像として迎えたとのこと。「当院限定の新型コロナウイルス疫病退散のお守りあり」の掲示がありました。その先、左に十思公園（じっしこうえん）があります。ここは江戸時代の「小伝馬町牢屋座敷」跡で、安政の大獄で捕らえられ、刑死した吉田松陰の終焉の地で碑（写真下右）があります。



十思公園の前は安楽寺（写真下左）。その隣は、江戸八臂辯財天です。説明板には「北条政子の発願により作られた。江ノ島弁財天に三体あり。一、江ノ島神社、二、岩本楼、三、当弁財天なり」と記載。「本当かいな」とつぶやいた湘南育ちの寅次郎でした。



[小伝馬町交差点] 中央区日本橋小伝馬町

最寄駅 東京メトロ日比谷線 小伝馬町駅



小伝馬町交差点（写真左）を左へ行くと岩本町駅方面、右は人形町通りで人形町駅方面です。江戸通りは直進で馬喰町駅方面へ向かいます。途中に鞍掛橋の信号がありました。この辺りは馬に関係あった場所です。

[浅草橋交差点] 中央区日本橋馬喰町

最寄駅 JR総武線 馬喰町駅

浅草橋交差点（写真下右）は浅草橋手前の交差点で靖国通り（都道 392 号線）と交差します。左へ行くと九段下方面、右へ行くと両国橋方面で両国橋からは京葉通り（国道 14 号線）となります。



浅草橋は神田川に架かる橋で渡ると台東区に入ります。

今回はここまでとします。浅草橋には寅次郎の中学時代の同級生が船頭をしている屋形船があります。屋形船に乗り、夜風に吹かれながら東京湾や隅田川沿いから新しくなった江戸を眺めます。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約600里（約2400km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、2022年、6月14日那須湯本（現在の栃木県那須郡那須湯本、江戸深川から288km）に到着しました。八柳さんのコースシートには都度、芭蕉の俳句が掲載されています。

那須町の温泉神社に那須与一を偲び、殺生石を訪ねる。館代より馬で送られ口取りの馬子から記念に短冊を求められる。こんな馬子風情にしては風雅なことを望むものだと一句。殺生石は温泉の出ずる山陰にあり。

「野を横に 馬引く向けよ ほととぎす」

（注釈： 広漠たる那須の原野を分けて行く馬首を大きく横に引きめぐらせよ。野を横切ってほととぎすが鋭く鳴き過ぎた。その声の消えゆく方へ。風雅な馬子よ）

遊行柳は西行法師が「清水流るる柳陰」とよんだ、かの柳は菰野の里にあって、今も田のあぜの間に残っている。

「田一枚 植えて立ち去る 柳かな」

（注釈； 詩人の詩魂をとどめた柳の精の前に、捧げる物を持たず先を急がねばならぬ旅の身の、せめて奉仕の手わざをと、みずから田の下り立ち、田一枚植えて心を残しつつその前を立ち去って行く）

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠ら

ないようお願いします！

平野 寅次郎 拝